

# あなたも組合の仲間に

# さいたま市教組新聞

編集・発行/  
さいたま市  
教職員組合  
〒330-0843  
さいたま市大宮区  
吉敷町4-93-5  
大宮教育会館2F  
TEL 641-6763  
FAX 648-3567  
2023. 5. 15(月)  
No. 284



蒲生の棚田  
新潟県十日町市松之山

## 教職員の労働条件を改善し いのちと健康を守るための 活動をしています

新年度が始まっておよそ一ヶ月が経過しました。みなさん、いかがお過ごしでしょうか。私たちさいたま市教職員組合（市教組）は、新しい執行部で新年度の方針づくりを進めているところです。

\* \* \*

先日、4月8日（土）には、私たち市教組も後援する「学教開き学習会」（埼玉研主催）が行われました。とても中身の濃い学習ができたと思います。そこで少し組合の宣伝をさせていただきます。組合に入るメリットはどんなところにあるのか。それは、ひとつは「人事交渉ができる」と言うことです。組合員でない場合、人事は管理運営事項として口を挟む余地がありませんが、組合

員であれば、勤務条件で交渉できることになっていきます。

\* \* \*

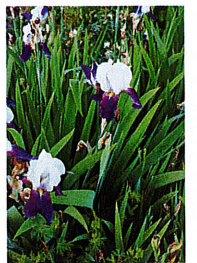
毎年、10月くらいに市教育委員会と人事交渉を行い、様々な確認をします。通常、新採用者は原則として3年間は異動できないことになっていますが、「職場でパワハラを受けた」とか「急に家族の介護が必要になり近くの職場でないと困る」といったときに、執行部も同席して市教委人事課と交渉したことがあります。実際に、新採用1年目の方が次の年に異動できたという例があります。このような特別の事情がある場合は、市教委も柔軟に対応してくれます。しかし、組合員でない場合にはこのような交渉はできません。その他、職場でパワハラを受けた等の相談にも対応してきましたが、困ったら連絡をいただければ組合として対応することができます。

\* \* \*

詳しいことはぜひホームページをみてほしいと思います。「さいたま市教職員組合」で検索してください。

\* \* \*

私たちは全日本教職員組合（全教）に属してい



ます。（同じ名前で「日教組さいたま」とあるのは私たちとは別の組合です）ホームページの下の方に全教青年部が作った2分48秒の動画がありま

\* \* \*

ある執行委員は、新任の時、子どもとうまくいかず毎日やめたいと考えていたといいます。また、ある執行委員は、保護者対応で一時は病休に追い込まれるのではないかと考えたことがあったそうです。暴力を振るってしまっ子がいて止まらない、暴力を振るう方も振るわれる方も自分のクラスの子どもだからとても苦しいという組合員もいます。このような事は今の教育現場では誰にでも起こりうることでないかと考えます。このようなとき、組合は頼りになります。市教委や管理職と同等の立場で話ができま

すし、自分が苦勞してき

た経験からアドバイスできるといふ組合員もいます。困ったらぜひ頼ってください。

\* \* \*

今の現場の労働環境はとても厳しい。これを改善していくことが求められています。一向に改善されない長時間過密労働に、教育長は「特効薬はある。人を増やすことだ。」といいますが、市独自で人を増やす努力はしないで、国の施策を先取りして行うことばかりに熱心で相変わらずのトップダウンを繰り返しています。これに対して、私たち市教組は、教職員の労働条件改善のための署名（定年延長に関するもの）や交渉、教職員の命と健康を守るために初任者の宿泊研修の中止を求める活動、行き届いた教育を実現するために少人数学級の署名等に取り組みできました。この機会にぜひ市教組の活動に関心を持っていただき、できるところでも活動していただけたらと思います。

さいたま市  
教職員組合  
執行委員会

「働き方改革フォーラム」という名の「ICT 教育推進フォーラム」

# 働き方改革はいったいどこへ?

## 「怒りさえ感じる1時間」の声も

# 業務の見直しや削減が 真の「働き方改革」では!

毎年、学年末の業務が押し迫るこの時期に、さいたま市教育委員会主催の「働き方改革フォーラム」が開催されます。今年も、オンラインで各職場に配信され、学年末業務の手を止め、視聴しました。フォーラムには、細田教育長をはじめ、学校教育部副部長、マイクロソフト社佐藤氏、そして、小学校、中学校から校長と、エバンジェリストが参加しました。

### いちばんの改革はICTの推進なのか

フォーラムは初めからICTの推進に特化し、司会者は各学校にいか浸透させるか、グラフなどで引用して、熱心な学校とそうでない学校があるとの指摘から始まりました。これだけでも、現場感覚からするとドキッとしてみます。アンケート

### 推進には『北風』が必要?

討論の中には聞き捨てならない言葉も発せられました。日本マイクロソフト社の佐藤氏からは、「北風と太陽」をたとえて挙げ、「いろいろ知識

### 本来の改革に目を向けてほしい

今、現場において、最も求められている負担軽減は何でしょう。私たちさいたま市教組は、「業務削減無くして、働き方改革無し」と訴え、特に市教委から矢継ぎ早に下ろされるさまざまな教育施策について、まずはここから大胆な削減を求めてきました。文科省の思惑を逸脱した、9教科による小学校の教科担任制は、人的補強もないまま強行され、高学年を中心



に大きな破壊を招いています。中

学校における部活動は、顧問の強制、時間外の部活動指導など、法的にも問題が生じている中、さいたま市だけは一向に改革が進みません。ロックスターシステムによる出勤管理システムには破壊が生じているのに、現場の声に少しも市教委は耳を貸しません。以前の打刻システムに戻すのに、ほとんど経費は掛からないはずですが、そんな多忙な中、昨年度から実施された「STEAM教育」は、手探りの状態で、実施には多くの時間を要しています。それと区別がつかないGSの「探求」の時間、年度初めの人間関係プログラム、それに付随したアンケートと面談。また、今年度になり、「寝耳に水」のように突然発表された「新たな教員研修」は、「新たな負担増」を助長する施策になるのではと、今から懸念の声が上がっています。これらの施策一つ一つを吟味し、見直しや削減することこそが真の「働き方改革」になるはずですが、「GIGAスクール構想さいたまモデル」を浸透させたいがため、それをいかにも「働き方改革に繋がっている」よう

な強引な論理のフォーラムに、年度末の大変さが追い打ちをかける中、「怒りさえ感じる1時間であった」などと、たくさん怒りの声が組合に寄せられました。ICTの推進が本当に現場の負担軽減、業務改善につながるのでしょうか。行政自ら手本を示してほしい、業務の削減はどうなったのでしょうか。現場では、相変わらずの時間外勤務、負担増が進んだままなのですから。あなたの声を組合にお聞かせください

市教組は、組合員はもちろんのこと、組合員でなくてもや職場での困りごと、悩みに耳を傾け、解決を図ります。まずは、市教組に電話・FAX・メールで声をお寄せください。対応します。

TEL 048(641)6763  
FAX 048(648)3567

メールは「さいたま市教組ホームページ」からご記入ください。